



2019年4月26日
千葉支社

安全・安定輸送確保のための社員訓練用設備について

JR東日本千葉支社では、安全・安定輸送のレベルアップの向上を目的として、2017年度から「乗務員区所シミュレーター」を順次導入しており、2018年度末までに管内すべての乗務員関係職場に配備が完了し、これを活用した乗務員の訓練を行っています。

また、設備関係工事を行う社員向けに2018年12月から「鉄道工事従事者訓練シミュレーター」を導入しており、より質の高い訓練を実施することにより、お客さまに安心して鉄道をご利用いただけるよう日々努めています。

1. 乗務員区所シミュレーター

(1) 概要

基本動作の教育と車両応急処置能力向上を目的に、乗務員の所属する職場・担当する線区に特化した教育を繰り返し行うため導入したシミュレーターです。運転士・車掌の基本的な運転の取扱いのほか、気象変化・線路内人立入り・人身事故など、トラブル発生時の対応を学んでいます。運転士用と車掌用を連動させた訓練も可能です。

(2) 導入箇所：千葉支社管内すべての乗務員関係職場（8箇所）

(3) 機器構成

- ① 運転士用シミュレーター
- ② 車掌用シミュレーター
- ③ 運転士用教師卓
- ④ 車掌教師卓

※車掌、運転士それぞれの単独訓練と、合同での訓練が可能です。



乗務員区所シミュレーター



運転士用シミュレーター



車掌用シミュレーター

(4) 主な訓練内容

- ・ 走行中の異常時対応訓練（人身事故、踏切事故、地震発生、異音感知、車内警報ブザー等）
- ・ 駅進入・進出時の取扱い訓練（お客さま接近・接触、駆け込み、ドア挟まり、荷物転落等）
- ・ 車両故障時の取扱い訓練

2. 鉄道工事従事者訓練シミュレーター

(1) 概要

基本動作と正しいルールを理解するとともに異常時における対応能力を習得するため導入された、VR（バーチャル・リアリティ）によるシミュレーターです。

設備のメンテナンスにかかわる基本技術の習得や、設備故障時の応急処置訓練等に活かしています。

(2) 導入箇所

新習志野訓練センター

(3) 機器構成

① 列車防護訓練シミュレーター

線路点検を行う際の列車への接触事故防止手順の確認や事故発生時の判断力の向上および、機器操作の確認

② 線路閉鎖工事手続訓練シミュレーター

線路内での作業を行う際に作業区間に列車を進入させないための手続の訓練及び、手続を誤った際の事故体験

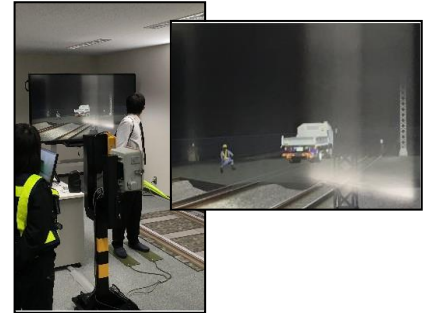
③ 停電工事手続訓練シミュレーター

電線の電気を止めて行う工事をする際の手続きや作業手順の確認、事故発生時の対応訓練および作業用具の点検訓練

(4) 主な訓練内容

- ・ 線路内作業を再現し、異常発生時（踏切故障、線路陥没、お客さまホームから転落等）の対応を行う訓練
- ・ 川崎駅構内脱線事故[※]の現場をバーチャルリアリティによる仮想空間で体感し、正しい対応を行う訓練
- ・ 工事のための停電手続を仮想空間で体感し、手続きの流れやルールを理解する訓練

※2014年2月23日京浜東北線川崎駅構内で発生した、回送電車が工事用重機械に衝撃した事故



① 列車防護訓練シミュレーター



② 線路閉鎖工事手続訓練シミュレーター



③ 停電工事手続訓練シミュレーター